

# 調 査 票

## 「技術力の向上と人材開発に関する調査」

### 御協力をお願い

事業所総務部長 殿

拝啓 時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、技術革新の進展、経済の過密化、国際競争の激化など、企業をとりまく内外の環境条件が急変する中で、企業の技術力の向上と地域の均衡ある発展、およびそれを支える人材開発は、産業界のみならず国にとっても重要な政策課題となって参りました。

このため、当職業訓練研究センターでは、このたび、労働省職業訓練局の要請に基づき、技術革新時代、地域開発時代に対応した国の能力開発政策推進の基礎資料とするため、「技術力の向上と人材開発に関する調査」を行うことといたしました。

御多忙中のところ御迷惑をおかけして大変恐縮に存じますが、どうぞ御協力くださいますようお願い申し上げます。

この調査の対象は、全国の規模30人以上の製造業に属する事業所の中からくじ引きのような方法で約5000所を抽出しましたところ貴事業所が選ばれましたので御了承ください。

この調査では、企業の技術力が中心的テーマとなっておりますので、貴事業所の生産技術担当部が中心になり、人事・勤労部の御協力を得て御記入いただきますようお願いできれば幸いです。

本日、持参いたしました調査票は、4、5日後、同じ調査員が回収にお伺いすることとしておりますので、( 月 日 )までに御記入いただき、訪問調査員にお渡しくださいますようお願い申し上げます。

おって、この調査は、当職業訓練研究センターが企画・実施するものであり

ますが、調査票の配付・回収の業務を社団法人輿論科学協会に委託しております。同協会は、昭和21年に発足して以来、多くの官公庁から年々各種調査を受託実施している伝統のある公益法人の調査機関であり、調査上知り得た秘密保持には特に留意することとしておりますので念のため申し添えます。

それでは何分よろしく願いいたします。時節柄、くれぐれも御自愛のほどお祈り申し上げます。敬 具

昭和59年3月

雇用促進事業団 職業訓練研究センター

(労働省所管)

〒229 神奈川県相模原市相原1960

(電話 0427-61-9911)

調査担当 基礎研究部長 泉

追 記

本調査の調査票の内容についてのお問い合わせは、上記の職業訓練研究センターへ、それ以外のお問い合わせ、御連絡は、下記の(社)輿論科学協会までお願いします。

社団法人 輿論科学協会

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目8-6

シルバービル

(電話 03-401-1131)

この調査は、統計以外の目的に用いることは決してありませんから、ありのまま記入して下さいようお願いします。

## 技術力の向上と人材開発に関する調査票

昭和59年3月

雇用促進事業団 職業訓練研究センター

(労働省所管)

神奈川県相模原市相原1,960

電話 0427-61-9911

※ この調査は事業所単位の調査です。本社、支店、営業所等がそれぞれ一つの事業所となります。同一会社が異なる場所で事業を営んでいる場合は、それぞれ異なる場所ごとに一つの事業所とします。

この調査票には、宛名の事業所のことだけを記入してください。

### <記入上の注意>

1. 記入は、あてはまる回答を一つ(特に指定のある場合は、その数)選びその番号を右端の□の中に記入してください。
2. 質問文の下の[]、□の箇所には、文章又は数字で記入してください。
3. ※印欄のある箇所には記入しないでください。

※1

8

13

支局	地点	対象	県	通留	本支	規	産業	事業所



問4 貴事業所の製品の主な販路はつぎのどれですか。  
 該当する番号をいくつでも選んでください。

1. 特定の1社に納入している
2. 2社以上のだいたいきまった会社に納入している
3. 納入先は特定していない
4. 自社製品として販売している（販売地域は周辺地域のみ）
5. " " （販売地域は全国にまたがる）
6. その他〔 " " 〕

33


問5 昭和53～58年の5年間に出荷額（売上高）は増加しましたか。  
 減少しましたか。

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1. 100%以上（2倍以上）増加した | 6. 0%以上25%未満減少した |
| 2. 75%以上100%未満増加した  | 7. 25%以上50% "    |
| 3. 50%以上75% "       | 8. 50%以上減少した     |
| 4. 25%以上50% "       |                  |
| 5. 0%以上25% "        |                  |

36

--

Ⅱ 貴事業所の従業員数についておうかがいします。

問6 貴事業所の昭和59年3月1日（又はそれに近い日）現在の従業員数（臨時、パートタイマー、嘱託を含む。但し事業主、役員を除く。）は何人ですか。

37

従業員数 

--	--	--	--	--

 人

問7 従業員のうち事務職（事務管理職を含む。）は何人ですか。

42

事務職員数 

--	--	--	--	--

 人

問8 従業員のうち技術者（主に設計、開発等技術系業務に従事する人）は何人ですか。

46

技術者数 

--	--	--	--	--

 人

50

※ 

9	9
---	---

問9 従業員のうち技能工等現業員（主に機械設備の操作・修理、材料の加工、製品の組立、監督等に従事する人）は何人ですか。

技能工等現業員数 52  人

問10 技術者、技能者は、不足していますか、余っていますか。

- イ. 技術者
- 1. 適正である
  - 2. 職種によって少し不足している
  - 3. 職種によってかなり不足している
  - 4. 余っている

56

- ロ. 技能者
- 1. 適正である
  - 2. 職種によって少し不足している
  - 3. 職種によってかなり不足している
  - 4. 余っている

57

問10A 不足している技能者の主な職種を3つまであげてください。

溶接工、金型工、染色工のように具体的に記入してください。

58  
\*

60  
\*

62  
\*

問11 貴事業所の本社、工場、営業所等を合わせた企業全体の従業員数は何人ですか。

- 1. 5,000人以上
- 2. 1,000～4,999人
- 3. 300～999人
- 4. 100～299人
- 5. 30～99人
- 6. 29人以下

64

IV 貴事業所の技術力に対するお考えについておうかがいします。

問12 最近、技術力を高めることが、重要だと一般にいられていますが、  
貴事業所では、そのために何か意識的な努力をしていますか。

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1. 非常に努力している | 3. あまり努力していない  |
| 2. まあ努力している  | 4. ほとんど努力していない |
|              | 5. 何ともいえない     |

65

問13 技術力に関係のある項目のうち、貴事業所がいま最も関心をもっているものは次のどれですか。重要な順に3つまで選んでください。

- |                  |               |      |
|------------------|---------------|------|
| 1. 先端技術の開発       | 8. コンピュータ利用技術 | 最も重視 |
| 2. 先端技術の導入       | 9. 設備の整備保全技術  |      |
| 3. 工業デザインの開発     | 10. 生産管理技術    |      |
| 4. 工業デザインの導入     | 11. 品質管理技術    | 次に重視 |
| 5. 新製品の開発        | 12. その他( )    |      |
| 6. 自動化設備の開発      | 13. その他( )    |      |
| 7. 自動化設備を使いこなす技術 | 14. 特にない      | 次に重視 |

66

68

70

問14 技術力を高めるため、必要な情報の入手経路について貴事業所がいま最も重視しているのは次のどれですか。重要な順に3つまで選んでください。

1. 自社従業員が生み出す情報
2. 系列親企業
3. 設備メーカー、関連企業
4. 顧客
5. 公的機関(試験場、指導所等)
6. 業界団体
7. 異業種交流研究会
8. 学会誌・専門誌
9. 特にない

72

最も重視

次に重視

74

次に重視









問23 貴事業所のテクニシヤンの数は、現在およそ何人ですか。

11  
人

問24 貴事業所のテクニシヤンの現員数を、主な養成経路別に、下表に記入してください。はっきりつかめないときは、およその人員を記入してください。

(人)

イ	将来、技術者になる予定の者で、 技術見習いとして従事中の者 14		
ロ	新規学校卒業者（高校、高専、大学卒） からテクニシヤンとして養成された者 17		
ハ	職長層でテクニシヤンの役割を になっている者 20		
ニ	技能工のうちから優秀な者を テクニシヤンに登用した者 23		
ホ	その他 26		

問25 貴事業所では、人事管理上、テクニシヤンをどのように位置づけていますか。現在と5年後の想定と両方にお答えください。

1. 技術職として扱う
2. 技能職として扱う
3. 技術職、技能職いずれにもいる
4. テクニシヤンとして独自に扱う
5. 何ともいえない

現在

5年後

問26 貴事業所では、テクニシャンの数を今後増やすお考えがありますか。

- 1. 積極的に増やしたい
- 2. まあ増やしたい
- 3. 増やす考えはない
- 4. 何ともいえない

→問28へ

31

問27 貴事業所では、今後、テクニシャンを採用する場合もっとも欲しいのは次のどれですか。2つまで選んでください。

- 1. 大学卒
- 2. 工業高等専門学校卒
- 3. 工業短大卒
- 4. 専修学校卒
- 5. 工業高校卒
- 6. 普通高校卒
- 7. 職業訓練短期大学卒  
(高卒者に短大レベルの技術・技能教育を行う2年制の公共訓練施設)
- 8. その他

32

最も欲しい

33

次に欲しい

34

※

9	9
---	---









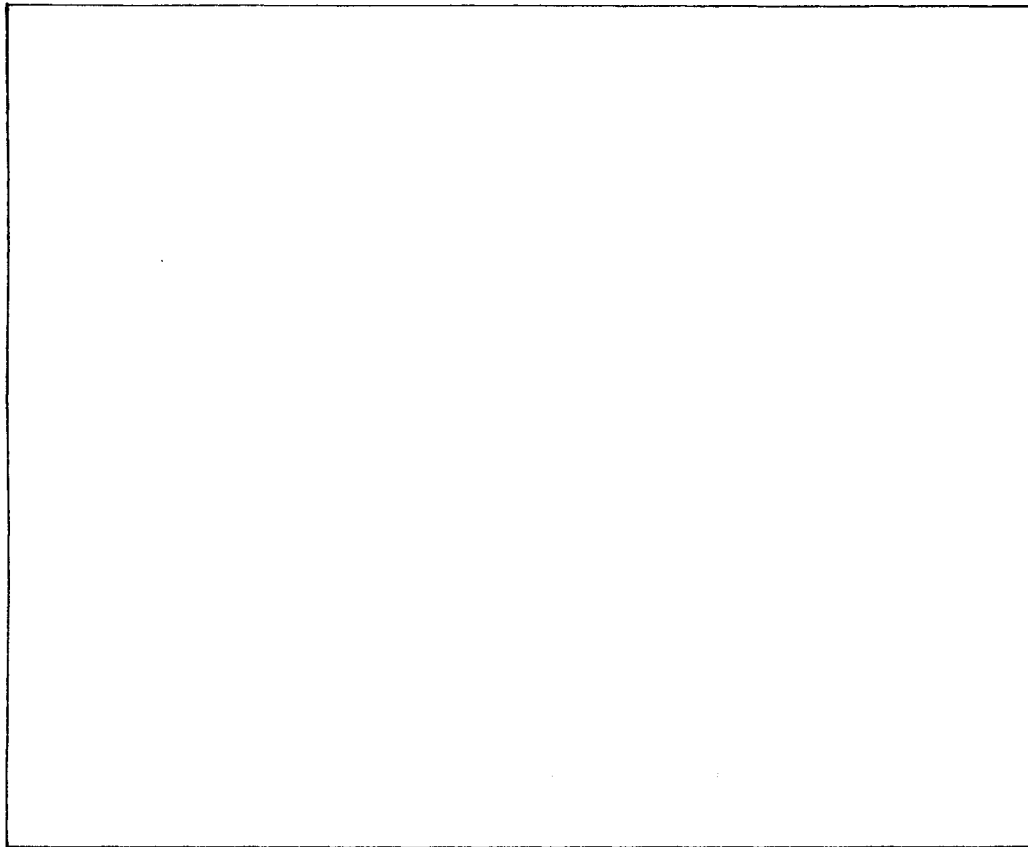








問 44 本調査について御意見があれば何でも結構ですから御記入ください。



御多忙中のところ、長時間にわたり御協力いただき大変ありがとうございました。